

# 広報 きずな 冬号

2011 Winter

★編集発行／芦北町社会福祉協議会 熊本県芦北郡芦北町大字湯浦1439-1(きずなの里内) ☎0966-86-0294



竹峰流の皆さまによる  
オープニングセレモニー



一人だけの金婚式  
～謝辞～



一人だけの金婚式  
～記念品贈呈～



今年も賑わいました  
ハザー&ステージ



## ～冬号 主な内容～

- もやいまつり
- 赤い羽根共同募金の御礼
- 福祉・介護チャレンジ教室
- 職員研修
- 各事業報告
- 休館のお知らせ

など



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。



### 動物愛護祭り(水俣保健所主催)

同時開催の動物愛護祭りでは愛護週間のポスターの表彰式や犬の譲渡会があり、たくさんの方たちが子犬の新しい家族になりました。

### 災害ボランティア報告会



災害ボランティアで派遣された芦北町役場職員岩間睦生氏と当協議会職員太田勝幸氏の報告を参加者の方々は熱心に聞いておられました。



バザーもステージも御協力いただいた各団体の皆さまのおかげでとても賑わい、中庭がお客様でいっぱいになりました。



大注目のステージ



### 無料配布

毎年、吉永商会様にご協力いただいている肥料の無料配布は今年も大盛況でした!!また、食生活改善推進員さんのミルクくず餅の無料配布も好評でした。



### 展示部門

子どもたちの手で描かれた「よみがえった不知火海の生き物たち」が館内を彩りました。



親子でふれあう  
子ども広場



子ども広場では思いやりをテーマに読み聞かせサークルひまわりの皆さまによります大型絵本やホワイトシアターの披露、立丸氏によります折り紙教室があり、たくさんの親子が楽しいふれあいのひとときを過ごしました。

11月13日(日)にきずなの里にて「思いやり」をテーマにもやいまつりを開催しました。

オープニングセレモニーを民謡竹峰流の方々に飾っていただき、もやいまつりが幕をあげました。開会式後、「一人だけの金婚式」を行い、今年度は18名の方が表彰を受けられました。引き続き、「災害ボランティア報告会」を開催、その他に屋内では、食生活改善推進員さんによる「ミルクくず餅の無料配布」、展示部門は「よみがえった不知火海の生き物たち」をテーマに小学生の絵画を展示、「子ども広場」では大型絵本やホワイトシアター、折って遊べる折り紙教室を開催しました。屋外では、水俣保健所主催の「動物愛護祭り」が同時開催され、「バザー」や「ステージ」、「肥料の無料配布」も各団体の皆さまのご協力をいただき大盛況のうちに幕を閉じました。

今後も地域福祉活動の発信ときずなを深める活動に力を注いでいきたいと考えております。皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



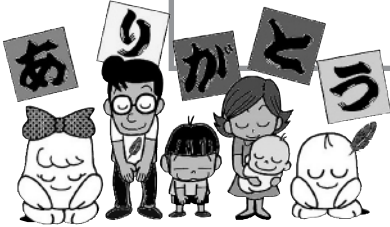
### 赤い羽根共同募金の御礼

10月から12月にかけて全国で一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されています。芦北町においてもたくさん募金が集まっています。

集まりました募金は、一度、全額を熊本県共同募金会に送り、来年度に芦北町社会福祉協議会に配分され、町の地域福祉サービスの充実のために役立てられます。

またご協力いただきました皆さま及び集金に携わっていただきました方々に厚く御礼申し上げます。

**ご協力いただきました  
平成23年度募金額  
(平成23年11月30日現在)  
5,894,744円  
6,039件**



### 芦北町福祉スポーツ大会

10月26日(水)に町内における福祉施設・団体等が一同に会し、それぞれの体力に応じたスポーツをとおし、交流を深めることを目的に開催しました。

9施設、10団体、1保育所が参加し、大玉ころがしや玉入れ、新競技のエコエコーレースなどの競技に参加者の皆さんは一生懸命になっていました。湯浦保育所の園児たちには可愛い遊戯を披露していただきました。また、アトラクションには、くまもと芦北療育医療センター太鼓と田浦地区会の民生児童委員で結成された民笑会(ひよっここ踊り)の皆さまにもご出演いただき、参加者の皆さまも大変喜ばれていました。

このイベントをとおして福祉の輪が町内に広がったのではないかと思います。



### 親と子の一日旅行

10月29日(土)に三井グリーンランドに親と子の一日旅行へ行ってきました。当日はあいにくの雨となりましたが、子どもたちは元気に園内を駆け回っていました。子どもたちの中には三井グリーンランドが初めての子もいたようです。

日頃忙しくて子どもたちとゆっくり過ごすことのできない保護者の方たちも親子で楽しい一時が過ごせたのではないかと思います。



### 介護者のつどい

介護に関する制度についての勉強会と温泉でリフレッシュ

12月6日(火)在宅で介護をされている介護者の方々のリフレッシュを目的に田浦福祉センターと御立岬温泉センターにて介護者のつどいを開催しました。

田浦福祉センターでは、地域包括支援センター職員から介護保険制度の福祉用具の貸し出しや購入、住宅改修について話があり、参加者の方からは、「福祉用具にも、種類や機能に応じた商品が沢山あるのを知りました」「これから利用を考えてみたい」などの声も聞かれました。

御立岬温泉センターでは、田浦の海を眺めながら食事を堪能され、温泉に入られた後は、ゆっくりとした時間を過ごされました。参加者の方同士で、楽しい会話や、日頃の悩みなどを相談されたりしていました。

このつどいをとおして参加者の方々は心身共にリフレッシュすることができたかと思えます。



# 福祉・介護チャレンジ教室 in 芦北高等学校

11月22日(火)に芦北高等学校において施設ボランティア連絡協議会を講師に迎え、福祉科の生徒たちを対象に福祉・介護サービスの意義や重要性を理解してもらうことを目的に「福祉・介護 チャレンジ」教室を開催しました。

午前中は「芦北町内の福祉の現状及び福祉施設を知ろう!」と題し、各施設の紹介と高齢者疑似体験や食事介助、全盲者介助、車椅子体験の実技を行いました。午後は「先輩から学ぶ福祉への思い」をテーマに芦高OBの福祉施設職員がパネラーとなり、シンポジウムを行いました。

生徒たちは実技をとおして高齢者や障がい者への理解を深め、介助方法を学び、仕事に対する姿勢や喜びなど福祉の現場で働かれる先輩方の思いをしっかりと受け止めていました。近い将来、生徒の皆さんが現場で活躍されることを施設ボラ連一同願っています。



～講義の様子～



～実技体験の様子～



～シンポジウムの様子～



## 平成23年度地域福祉推進セミナー



12月3日(土)きずなな里において、宮崎県のNPO法人ハートム理事長の初鹿野聡氏を講師に迎え「共助の心で結ぶ支え合いの輪」と題してセミナーを開催しました。

セミナーでは3月11日に発生した東日本大震災について、被災地の映像を交えながら、マスコミで報道されていない避難所・在宅避難の方々の状況について話されました。その状況を肌で感じたからこそ、昔ながらの横のつながりや知恵を知っている世代がいる今、孤立しやすい現代社会において人と人の絆を結ぶための取り組みが必要であるとの教訓を与えていると話されました。

このセミナーをとおして地域での支え合いについて改めて見つめ直す機会となりました。

～大震災の復興から地域の福祉力を考える～

# 地域福祉推進セミナー



(5) 広報きずな



9月14日から20日にかけてぎずなの里と八幡荘デイサービスにて敬老会を行いました。利用者様の唄にボランティアさんの踊りに三味線、保育所の園児たちのお遊戯、職員まで飛び入り参加してたいへん盛り上がり、会場は利用者様の笑いに包まれました。



デイサービスで敬老会を開催



認知症サポーター養成講座を開催してみませんか？

地域包括支援センターでは、「認知症サポーター養成講座」開催希望の団体を募集しています。

認知症は誰でもなりえる病気です。認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、この講座をおとして認知症について正しく理解し、多くの方に考える機会を持っていただければと思います。受講者には認知症サポーターのしるしである「オレンジリング」が配布されます。どなたでも受講できますので地域や職場、学校などでも是非お申込みください。

なお、講師にはキャラバンメイトが各地域や職場に伺います。

★お問い合わせ先★

芦北町地域包括支援センター

☎0861-2270

用語解説

\*認知症サポーターとは、何か特別のことをするのではなく、認知症になった人やその家族の気持ちを理解し、自分のできる範囲で手助けをする人たちです。

\*キャラバンメイトとは、「認知症サポーター養成講座」の講師役を務めていただく人です。一市二町で開催する「キャラバンメイト養成講座」を受講することが要件です。芦北町では今年、5名の方が受講され、平成21年から合わせて15名の方が登録されています。



認知症サポーター養成講座の様子



本年度のキャラバンメイト修了者の皆さま

# 職員研修を実施!

## これからの地域福祉活動と

### 事業展開について

9月1日(木)、11月2日(水)の2回にわたり、社会福祉協議会の役割を再認識すると共に、現状や課題、方向性をすべての職員と共有し、検討することを目的にアドバイザーとしてひとちいき計画ネットワーク代表取締役佐伯謙介氏を招き、職員研修を実施しました。

1回目の研修会では「地域福祉とは! 社協とは!」をテーマに講義があり、その後、「芦北町社協の『いい』ところ!、現状の問題・課題!、『一歩踏み出す』アイデア!」との内容でワークショップを行いました。

2回目の研修会では各部門の情報・状況共有と1回目の研修で出された「芦北町社協が一歩踏み出すアイデア」の具体化を各グループで話し合いました。

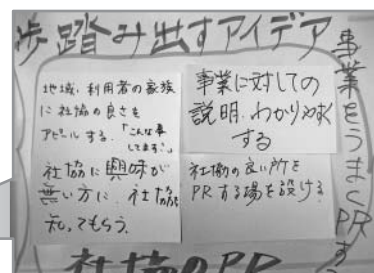
どのグループも活発な意見が出されました。意見の多くは「アピールの必要性」と「担当業務外の事業内容を理解すること」についてが多く挙げられ、その具体策として社協の広報紙以外の広報機関を利用したアピールをしたらどうか、課を超えた連絡会議や勉強会を定期的に開催したらどうかなどいろいろな意見が挙げられました。また、こんな事業はできないだろうかなど、課を越えて話し合うことで一人一人が社協の将来のあり方を考えていることがこの研修をおして知ることができました。この研修を今後の芦北町の地域福祉活動の推進に反映させたいと思います。



講義では地域福祉の必要性と社協のあり方について再確認しました。



ワークショップでは7つのグループに分かれ、活発な意見が交わされました。職員一人一人の考えを知ることができました。



ワークショップで出した意見を各グループごとに発表し、現状や課題を共有しました。研修で出した課題を改善し、一歩踏み出すアイデアは今後の事業につなげていきたいと思っています。

# 地域福祉推進講座 災害図上訓練 DIG

災害図上訓練DIGは「一人も見逃さない！災害時に生きる地域の力」をテーマに掲げ、災害時に起こりうる課題や問題点の掘り起こしと日頃からの関係づくりがいかに大切かを一緒に考える講座を各地区で実施しています。参加者からは「危険箇所の再確認ができ、災害時にお手伝いが必要な方などの情報を地域のみんなで共有することができてよかった。」「日頃からのおつきあいが重要だと感じた。」などの感想が聞かれました。この講座をとおして地域の課題を見だし、日頃からの顔の見える関係づくり・見守りに繋がればと思います。

～市野瀬地区～

～福浦地区～

9月～11月実施地区

市野瀬 福浦  
大野 山川



## 香典返し及び一般寄付

本協議会にご芳志賜りました。ありがとうございます。

(平成23年9月1日～11月末受付分)

### 香典返し及び一般寄付

#### 〔香典返し〕

#### 9月分

- ・寺口サチエ 市居原 (故寺口 安男) ・福田スマ子 津奈木町 (故釜 アサノ)
- ・菊川トミ子 丸山 (故菊川 隆義) ・田中キミエ 鶴木山 (故田中 照雄)
- ・桑村カズ子 田川 (故桑村 彌吉) ・松本ツギ子 米田 (故松本 保男)
- ・福浦 英二 福浦 (故福浦 フクエ) ・入口 昌則 乙千屋 (故入口 ミツエ)
- ・谷崎 輝明 小田浦7 (故谷崎 フデ) ・平松 保子 田浦町2 (故平松 輝夫)

#### 10月分

- ・橋本 壽治 湯浦南 (故橋本 イヨ) ・本村 洋子 吉尾 (故本村 武人)
- ・熊部 安輝 吉尾 (故熊部 ヒサエ) ・江口あき子 宮崎 (故江口 清美)
- ・吉住 忠治 上町 (故吉住 喜美子) ・窪田 秀子 宮崎 (故窪田 一郎)
- ・塩森 清一 塩浸 (故塩森 シモ) ・堂本アキエ 湯南団地 (故堂本 勇)
- ・山元 三幸 小田浦6 (故山元 香) ・上村 雪子 大岩1 (故上村 敏則)
- ・田口富美子 丸山 (故田口 光義) ・大崎 武美 女島西 (故大崎 正行)
- ・坂梨 軍喜 市野瀬 (故坂梨 政春) ・下田フサ子 湯浦東 (故下田 弘之)
- ・山下 邦子 田川 (故阪熊順之助) ・溝下 重幸 田浦4 (故溝下 治吉)
- ・堂本 敏勝 横居木 (故堂本 ミチ) ・田中美枝子 田浦町3 (故田中 学)
- ・橋口トメノ 横居木 (故橋口 勝美)

#### 11月分

- ・岩田ツヤ子 上原 (故岩田 豊喜) ・亀崎由布子 田浦3 (故亀崎 政治)
- ・岩間 潤子 宮崎 (故岩間 田取) ・福浦 信子 福浦 (故福浦 只喜)
- ・山田 長政 白岩 (故山田 悦子) ・尾上 照男 黒岩 (故椎葉 フサエ)
- ・藤井 新治 白岩 (故藤井 アキエ) ・山本アサノ 永谷 (故山本 勝義)
- ・宮崎 トミ 海浦1 (故宮崎 竹春) ・塚本スエ子 井牟田2 (故塚本 徹)
- ・濱崎ケイ子 田浦2 (故濱崎 輝夫) ・福田 久枝 津奈木町 (故倉間 正人)
- ・江口 誠語 高岡南 (故江口 ハルエ) ・西 裕子 上町 (故西 英紀)

#### 〔一般寄付〕

- ・岩永 勝好 ・匿名1件
- ・歌と踊りのチャリティ 平生明決／農頭圭子



## 芦北町の高齢者を地域みんなで支える 『介護予防サポーター養成講座』のご案内

当協議会は、現在、高齢者の寝たきりや閉じこもりを防ぐため、介護予防事業の一つとして町内88カ所の公民館で「たっしゃか会」を開催しています。その事業活動を支えているのが「介護予防サポーター（登録制有償ボランティア）」です。

受講者は、本講座の全4回を受講していただきますと認定証の交付があり、「介護予防サポーター」として「たっしゃか会」に参加して、たっしゃか体操(健康体操)等の支援や指導を行います。

「介護予防サポーター」は、ボランティアとして当協議会と一緒に活動できるとともに、受講者自身の介護予防対策の知識としても活用できます。皆さまの応募をお待ちしています。

【対象者】 介護予防に興味・関心がある方、またはボランティアとして活動をお考えの方  
※年齢、資格不問（定数40名程度）

【受講料】 無 料

【申込期限】 平成24年1月20日（金）

【申込方法及びお問い合わせ】

芦北町社会福祉協議会 『八幡荘』 TEL：87-0294にお電話ください。

【養成講座開催について】

養成講座は、芦北町社会福祉協議会『きずなの里』にて下記の日程で開催します。  
当日は、動きやすい服装でご参加ください。

	開催日	時間	内 容
第1回	2月 2日(木)	14:00~16:00	開校式、血圧測定、たっしゃか体操
第2回	2月 9日(木)	14:00~16:00	ボールストレッチ、たっしゃか体操
第3回	2月16日(木)	14:00~16:00	レクリエーション、たっしゃか体操
第4回	2月23日(木)	14:00~16:00	認知症について、閉校式



昨年度末に養成した1期生34名は、ただ今たっしゃか会にて活躍中です!!

**芦北町の介護予防のため、  
あなたの力をお貸しください。**



### 「きずなの里」休館のお知らせ

きずなの里では12月31日（土）から1月3日（火）までの4日間休館します。

施設をご利用の皆さまには、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解頂きますようよろしくお願いいたします。

新年は1月4日（水）より平常通り開館いたします。



来年も  
よろしく  
お願いします

